

連載 新潟市への進出企業を紹介
ニイガタで始める。④

問 企業誘致課 (☎025-226-1689)

ソニアキューブ株式会社(本社:埼玉県)
ダイレクトチャネル事業部
濱中 和樹さん



▲新潟コールセンターの従業員の平均年齢は35歳と、若い人が多い。「一緒に働いてくれる仲間を募集しています」と濱中さん

首都圏とのアクセスの良さで進出

同社の業務内容は企業のコールセンター運営や保険商品の募集、経営コンサルティングなど、多岐にわたります。新潟コールセンターでは生命保険会社のコールセンターを運営し、電話で保険商品の販売・提案などを行っています。

「業務拡大やコロナ禍で非対面営業の需要が増えたことで、センターの増設を検討しました」と濱中さん。「本社がある大宮から新幹線1本で行き来できるアクセスの良さが、新潟進出の大きな決め手でした」

新潟で充実した生活を送る

濱中さんは埼玉県出身。今年4月に同センターへ赴任し、新潟市内で生活しています。「元々イメージしていた通り、新潟はご飯とお酒がおいしいところが魅力的です。また、埼玉には海がないので、今年の夏は新潟の海を楽しむことができ良かったです。終業後はジムで汗を流し、充実した生活を送っています」

濱中さんの目標は、同センターの規模を大きくすること。「オペレーターを今の10倍の160席まで増やせるよう、人材募集に力を入れていきたいです」と笑顔で話してくれました。



同センター所在地 中央区東大通1
同センター設立 2021年8月
同センター従業員数 25人(今年9月時点)

連載 エスディージーズ SDGsに取り組む市内団体を紹介

教えて!みんなのSDGs ②

問 政策調整課 (☎025-226-2066)



株式会社パウハウス
代表取締役 肥田野 正明さん



障がい者アートを貸し出し

同社では、障がいのある人が描くアート作品を店舗や企業に貸し出す「まちごと美術館 Cotocoto」を運営しています。「以前私が作品を購入した時、一時的な売り上げでは作家の生活の助けにならないのでは、と考えたのがきっかけです。障がいのある人が安定して働く難しさを経営者として知っていたので、アートの制作が社会参加や経済的自立の選択肢になればと思いました」と肥田野さん。現在は、県内を中心とする約170カ所に、約330作品が貸し出されています。

障がい者の活躍の場が増えるように

「最初はSDGsの取り組みとして興味を持った人も、次第に作品そのものの魅力に引き込まれていくようです。多くのお客さんが長期間継続してレンタルしてくれています」と肥田野さん。今後は県外にも取り組みを広めていく予定です。

「公共施設などでしか飾られていなかった障がい者アートが、今では人が行き交うまちなかに置かれています。アートを通じて障がいのある人への理解が進み、活躍の場がさらに増えていくといいと思います」と話してくれました。



▲小田潤「みんなでワニなる」=写真=など、作品の情報はウェブで一般公開。「作品を通して、障がいのある人と関わりがなかったお店や企業ともつながりが生まれています」

感染対策をして出かけよう

ニキロ

「にいがた2km」秋の注目イベント

都心エリア「にいがた2km」の最新情報は、ニュースサイト「ニイガタニキロ ニュース」=右=で紹介しています。



10/26水
~30日

食の陣CRAFT
in Autumn



食の陣公式サイトはこちら

県内外のクラフトビール・ワインの飲み比べや、お酒にぴったりの秋の絶品グルメを味わうことができます。

- 時間 11時~21時 ※30日は20時まで
- 会場 万代シティパーク(バスセンター2階)
- 料金 入場無料 ※飲食料金は電子地域通貨「食の陣ペイ」で支払い(現金不可)。購入方法は食の陣公式サイトに掲載

問 食の陣実行委員会事務局(月~金曜10時~17時 ☎025-286-9112)
観光政策課 (☎025-226-2608)



所沢ビール



月山クラフトビール

「食の陣ペイ」30%ポイント還元キャンペーン実施中

市内飲食店などの対象店舗で「食の陣ペイ」で支払いをすると、支払額の30%分のポイント(1回につき上限3,000円分)が付きます。ポイントは次回以降の支払いに利用できます。 ※予算がなくなり次第終了。詳しくは食の陣公式サイトに掲載



11/3祝

**新潟まつり
花火ショー**



同まつり公式サイトはこちら

新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期していた花火ショーを開催します。信濃川を舞台に、3カ所から上がる花火と音楽が華やかに共演する「まちなか音楽付き花火ショー」をお楽しみください。

- 時間 18時半から
- 会場 信濃川河畔(昭和大橋上流~萬代橋)
- 料金 入場無料

問 同まつり実行委員会(☎025-290-4411)、観光政策課



花火観覧時のお願い

- ・やすらぎ堤内は一部観覧できない区域があります。また、混雑状況により入場規制を行う場合があります。 ※詳しくは同まつり公式サイトに掲載
- ・感染症対策のため、飲酒や食事は控えてください。
- ・周りの人との距離を確保できないときなど、状況に応じてマスクを着けてください。

定期的に検診を受けましょう。 問 健康増進課 (☎025・212・8162)